「話し合いの技」㊙マニュアル

今回の授業で身に付けたい「話し合いの技」を確認しよう！

【考えをつなぐ技（主に司会者）】

**□立札をうまく活用する**

「（『質問』を出した仲間に対して）　　○○さん、誰に対して、どんな質問がありますか。」

「（『共通点』を出した仲間に対して）　○○さん、どのようなところが同じ考えでしたか。」

「（『相違点』を出した仲間に対して）　○○さん、どのような相違点がありますか。」

**□意見をなかなか言えない仲間がいる時**

「～～という意見が出ました。これについて○○さんはどう思いますか。」

**□話題からそれている時（関係ない話になった時）**

「話題からそれています。『絆を深める学級レク』という話題にもどりましょう。」

□勝手に話し始める仲間がいる時

「少し待ちましょう。○○さんの考えを最後まで聴いてから意見を言うようにしてください。」

□立札があまり活用できていないとき

「誰かが意見を言ったとき、立札を必ず使って反応するようにしましょう。」

□メモを取っていない仲間がいる時

「大事なところはメモを取っていきましょう。」

**□話し合いが終わってしまいそうな時**

「学級レクで何をするかは決まりました。では、細かいルールを決めていきましょう。」

「私たちの班はドッヂボールに決まりました。では、他の班から鬼ごっこという意見が出たと

きに、その班を納得させる意見や鬼ごっこの問題点について考えていきましょう。」

【話し手の技】

**□相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように工夫する。**

→繰り返し言う　具体例などを補足して言う　分かりやすく言い換える

【聴き手の技】

**□聴き取ったことを自分の考えと比較し、共通点や相違点、質問を考える。**

→話し手の考えのうち、重要なことをメモする

→話し手の話が終わったら、自分の考えや質問を述べる